

平成23年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	61	学校名	県立竜ヶ崎第二高校						課程	全日制		学校長名	倉持 利夫			
教頭名	笠川 勉								事務長名	秋田 剛						
教職員数	教諭	29	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	6	実習教諭	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	46
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	17	59	18	59	11	62			46	180	6				
	商業科	11	23	11	28	6	22			28	73	3				
	人間文化科	0	40	0	35	0	40			0	115	3				

2 目指す学校像

1	文武両道の精神の基に、生徒ひとり一人が確かな学力を身につけ、希望する進路を実現する学校。
2	規範意識と品性を備え、豊かな心を持った人間を育成する学校。
3	学校・家庭・地域社会の連携協力により、地域から信頼される活力と意欲に充ちた学校。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	①生徒の家庭学習時間の確保が十分でない。更なる学力向上のための動機づけの工夫を継続する必要がある。 ②授業に集中できる生徒ばかりではないので、各教科で授業内容の改善や工夫を昨年に増して図っていく必要がある。 ③学習の目的や方向性を十分に示し、学習意欲を高め、家庭学習の必要性を意識させ、進学課外等への参加を増やすことも昨年以上に求められる。 ④チャイムからチャイムまでの授業実践は定着している。 ⑤3学期制を生かした学力向上に継続して取り組んでいる。 ⑥席や遅刻の多い生徒は、学習面でも遅れがちであるので、面談等で個別に意識づけが必要である。	①基礎学力の不足している生徒や授業に遅れがちな生徒への効果的な学習指導を進めること。 ②各教科科目で適量の宿題を生徒に与え、学力向上を図ること。 ③全ての教科で生徒を引きつける授業をいかに展開するかを常に考え進めること。 ④放課後及び長期休業中の課外の活発な参加を促すため、積極的な働きかけをする。 ⑤今年で統一した様式での成績処理を行ってきたが、更なる工夫・改善をしていくこと。
進路指導	①学年に応じた進路指導を行っているが、1・2年生の進路に対する意識が低いので、早期に集会やホームルーム等で継続して動機付けを行う必要がある。 ②大学進学希望者の能動的な取り組みが不足している。 ③進路希望の実現に向けた進路指導体制の整備と強化を図り、進路実現に向けた具体的な取り組みを行っている。	①学年に応じた進路指導をどのように具体的に充実させ展開していくか。 ②「行ける」大学等でなく、目的に合った「行きたい」大学等への進路実現を図る。 ③進路希望を達成させるため個々の課外指導等を充実させる。
	①ほとんどの生徒はマナー、身だしなみ共にできている。一部の生徒の生活意識・行動に対する指導を継続する必要がある。	①遅刻指導や服装指導を徹底し、基本的な生活習慣を確立させる。

生徒指導	<p>要がある。</p> <p>② 定期的な服装等の指導や昇降口指導は十分に出来ているが、日常の指導の徹底を継続する必要がある。</p> <p>③ 生徒は安易にアルバイトに走る傾向がある。家庭の経済状況にも根強い指導を展開していき、高校生生活を充実させるため必要がある。</p>	<p>② マナーや規範意識の啓発と交通安全の意識を十分に指導しているが、授業や集会・ホームルーム等で、更にその意識を十分に指導し透かす必要がある。</p> <p>③ アルバイトに就いた生徒は保護者の協力と理解を得た個に応じた適切な指導が必要である。</p>
特別活動	<p>① HRの活動内容や文化祭の内容をより発展充実させる必要がある。</p> <p>② 全体として部活動加入率が低迷している。学校活性化のためにも加入率を高めて行く必要がある。</p> <p>③ 男子生徒が1年生に28名入学し、全校で74名となった。今後は男子生徒の部活動活性化を進めることが求められる。</p>	<p>① 生徒がHRや学校行事に積極的に取り組む、挑戦していく環境づくり及び指導体制の更なる効果的な推進。</p> <p>② 部活動加入率を高め一層の充実を図る。</p> <p>③ 昨年に増した生徒会の活性化を図る。</p>

4 中期の目標

<p>(1) 授業や課外指導の改善充実に努めて学力向上を図ると共に進路指導体制を確立し、生徒のより高い進路希望の実現を図る。</p> <p>(2) 基本的生活習慣を確立させると同時に、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等の充実を図り、心身共に健康で心豊かな人間育成をめざす。</p> <p>(3) 教育活動を積極的に公開し、生徒・保護者・地域社会のニーズに応えられるように努め、地域から信頼されると共に地域に貢献できる学校づくりを図る。</p>

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・学習意欲の向上	<p>① 興味関心を醸成する魅力ある授業の展開</p> <p>② 学力アップを図る家庭学習の習慣化</p> <p>③ 基礎学力アップ（習熟度別授業やTT授業等）</p>
・基本的生活習慣の確立	<p>① 挨拶の励行やマナーの向上</p> <p>② 服装指導・遅刻指導等の徹底</p>
・環境整備と美化活動	<p>① 清掃の徹底</p> <p>② 教室等の整理整頓</p>
・明るく活気あふれる学校	<p>① HR・生徒会活動への支援や学校行事の充実</p> <p>② 運動部・文化部への加入率アップ</p>
・生徒ひとり一人にとって居心地の良い学校	<p>① 相談活動の充実</p> <p>② 生徒への声かけ</p>
・生徒の希望や目標を実現できる学校	<p>① 資格取得試験の合格率アップ</p> <p>② 生徒の希望や進路実現支援体制の充実</p>
・地域から信頼される学校	<p>① ボランティア活動及び地域活動への積極的参加</p> <p>② 地元中学校への情報提供と連携強化</p>